

■中継ユニット基本操作マニュアル■

※この中継ユニット基本操作マニュアルは、NU-3200（離床CATCHⅢ）を例に説明しています。

※ベッドの機種によって、検知できる使用者の動作が異なりますので、詳細はベッドの取扱説明書を参照してください。

※離床CATCHは、使用者を見守る際の補助的なシステムであり、使用者の徘徊、転倒転落事故などを防ぐことを何ら保証するものではありません。正しく設定をしていても、使用者の動作や寝る位置などによっては、誤通知・不通知の可能性ありますので、詳細は中継ユニットの取扱説明書を参照いただくか、弊社営業担当者にお問い合わせください。



設定方法

手順①



を押し、ロックを解除する
(各ボタンのランプが点滅します)

手順②



検知したい動作のボタンを選択します
「起上り」もしくは「見守り」を設定した場合は、
ボタンを続けて押し、時間の設定をします

手順③



患者さんの体重に合わせて3つの中から選択します

手順④



を押し、設定を確定する
(各ボタンのランプが点滅から点灯に変わります)

【センサー機能（通知）ON】

手順①



を押し、ロックを解除する（各ボタンのランプが点滅します）

手順②



を押し、オレンジ色のランプが点灯すると通知がONになります

注1) ベッド上に患者さんが安静な状態で乗っていることを確認してください

【センサー機能（通知）OFF】

手順①



を押し、ロックを解除する（各ボタンのランプが点滅します）

手順②



を押し、「通知オン」ボタンのオレンジ色のランプが消灯すると、
通知がOFFになります。

注2) ベッド上に患者さんが戻り、離床CATCHを使いたい場合には、
「センサー機能ON」の手順で操作して下さい

【センサー機能（通知）一時停止】

手順①



を押し、ロックを解除する（各ボタンのランプが点滅します）

手順②



を押し、オレンジ色のランプが点滅すると、
通知オフとなります。3分間経つと、自動で通知オンになります

注3) 排泄介助やトイレ、検査等で離床する際など、
一時的にナースコールへの通知をオフにしたい場合にご使用下さい
注4) 手動で一時停止を解除する場合は、再度①、②の手順を行って下さい
注5) 通知オフ状態では一時停止はできません

■ 離床CATCHの機能とユーザー像適応例 ■

※下記に機能説明と対象となるユーザー像の一例をあげています。下記のユーザー像は一例であって、すべての人に適応できるものではありません。実際には使用者のアセスメントを行った上で機能を選択してください。

【起き上がり※1】 ※1；離床CATCH I では設定できません。中継ユニットは「起上り」と表記しています。

- 機能：ベッド上で起き上がった際の動作を検知
起き上がり後、検知するまでの時間設定が可能（0秒後、1秒後、3秒後）
適応例：転落リスクのある方、離床することが危険で早く知りたい方、など

【端座位】

- 機能：ベッド上で端座位の姿勢をとった際の動作を検知
適応例：端座位保持ができない方、離床することが危険で早く知りたい方、など

【離床】

- 機能：ベッドから離床した（立ち上がった）際の動作を検知
適応例：離床に不安がないが、離床後の目的忘れ、迷子などの不安があり、付き添いを必要とする方、他の患者・入居者とのトラブルを発生させる可能性がある方、など

【見守り】

- 機能：ベッドから離床後、設定した時間内にベッド上に戻らなかった場合に通知
（1分、3分、5分、10分、30分）
適応例：離床に不安がないが、離床先（トイレなど）で転倒するなどの不測の事態を発生させる可能性がある方、など

← 転倒転落リスクの高い患者さん



転倒転落リスクの低い患者さん →

